

湧き水 fun 倶楽部の活動を紹介します。

伊祖を歩く

2010年9月4日

『メヌカー』

昭和40年代初頭あたりまで、利用されていたようです。

かつては飲み水に利用され、お正月の若水もここで汲まれたそうです。



自治会も拝みをしているという『イーヌカー』



牧港との境にある『立津ガー』

こちらにも拝み、掃除をしています。



城跡から坂を下る途中、左側のスージ道に入ると『クシヌカー』があります。
今でも近くの方が雑用水などに利用しているようです。



『イリヌカー』跡

水道が敷かれていなかった頃、ここも大切な井戸だったので、形がなくなった今も自治会では拝んでいるそうです。



『ニヌファガー』

ここは、個人の所有の井戸だったらしく、特に自治会では管理はしていないそうですが、今も大事に守られています。



公民館近く、神アサギに入る前に身を清めたという『紫木ガー』跡があります。
ここも大切な井戸として自治会で拜んでいます。



牧港を歩く

2010年9月23日

産ガ－行ってみました。

右側にある小さな囲いのほうが湧き口です。

左側は、お洗濯や雑用水につかったようです。



港川を歩く

2010年9月29日

上港川（現在の港川中学校近く）は、

かつては「シードバル」と呼ばれ、こちらには別に地域の人々が使っていた湧き水があったそうです。



屋富祖を歩く

2010年10月10日

公民館の敷地内にある前ヌ井泉（メーヌカー）。



側に隣接する広場には、モニュメント的な手押しポンプがあり、水辺の空間を演出しています。



公民館の西側、屋富祖3丁目にある「井戸」。
今もなお、蓋をされた井戸の中には水が湧いています。



宮城を歩く

2010年10月29日

かつて宮城集落にあった拝所（井戸、火之神、呑殿地など）を公民館のそばに合祀してありましたが、そこからあらたに移築して整備されたのだそうです。



手前にはモニュメント的な掘り抜き井戸が。



ひまわり公園近くの「下原（シチャーラ）ガー」
水量も豊富にあります。



『ホタルの小径』

押してみると、冷たくきれいな水を汲み上げることができます。



仲西・勢理客を歩く

2010年11月4日

仲西ウブガー

かつては飲み水として使用され、お正月には若水も汲まれたようです。

透明度の高い湧き水！！



勢理客公民館の庭にあるのが「ウビガー跡」



沖縄の湧き水を訪ねて ～沖縄のカー 井戸をたどる～



平成 23 年 1 月 29 日 (土) 浦添市男女共同参画推進ハーモニーセンターにて、湧き水 fun 倶楽部主催で、「ボーダーインク発行 沖縄の水の文化誌～井戸再発見」著者である、講師：長嶺 操氏による講演会が行われました。



開始前の受講生



講師の長嶺操先生のご紹介



著書を片手に講義がスタート



真剣に聞き入る受講生



活発な質問が次々に



講義終了、お疲れ様でした

